

## 優しい心が一番大切だよ ～誰にも「自由の翼」は奪えない～

### 1 はじめに

いじめは、一定の人間関係にある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているものであり、そのため、いじめられる児童生徒は無力感に陥り、考える力や生きる気力さえも失いかねないものである。

このプログラムは、夢や希望、様々な可能性のある未来までも奪われてしまった当事者の声に耳を傾けることにより、「いじめは絶対に許されない」ということについて考え実感することをねらいとしている。

自分らしく幸せに生きる権利を全ての人が持っている。その権利を侵害することは、相手が誰であれ認められない。いじめは決して許されることではないということを、児童生徒自身の心で実感させたい。

### 2 学習のテーマとねらい

(1) テーマ 「相手を思いやる優しい心の大切さについて」

(2) 主な対象 小学校～中学校

(3) 学習のねらい

いじめは、どの子にも起こり得ることであり、大変悲惨な結果をもたらしかねない、決して許されないことである。いじめによって自殺した小森香澄さんの事例を通して、いじめは被害者に多大な苦しみを与えて未来までも奪うことがあることを理解し、相手のことを本当に思いやる優しい心の大切さに気付く。

### 3 教材について

小森香澄さんの母親、小森美登里さんは、元文部科学省いじめ問題アドバイザーで、いじめや暴力のない優しい社会を目指すNPO法人ジェントルハートプロジェクトの理事として、全国の学校や教育機関などで、心と命を考える講演活動を行っている。それは、1998年に当時高校一年生だった一人娘の香澄さんが、いじめを原因として自殺したことに端を発する。

香澄さんは、明るい性格で友達もたくさんいた。教室の中でいつも友達を笑わせていた。小学生のときからあこがれていた吹奏楽部に入部するためにある高校に進学し、毎日の朝練習にも参加するなどして大変意欲的だった香澄さん。その香澄さんが学校に行くのを嫌がるようになった。原因は、部活動でのいじめだった。心への暴力に苦しみ追いつめられた香澄さんは、ある日自殺を図った。数日間は命を取り留めたものの、結局亡くなった。大好きなお父さんの誕生日でもあった7月27日のことだった。

香澄さんは、亡くなる少し前、こんな言葉を言った。「優しい心が一番大切だよ。」とても辛い状況にありながら、いじめている相手の悪口を言うのではなく、その相手を気遣う香澄さんを見て、小森さんはただ涙を流すしかなかったそうだ。(資料②参照)

香澄さんの死後、彼女が作った詩が出てきた。「窓の外には」というこの詩は、9才の頃に作ったものだ。(資料③参照)

この詩に吹奏楽部の関係者が歌詞を書き足し、一つの楽曲が作られた。香澄さんが詩に込めた思いをくんで書き足された言葉の中に「自由の翼力強く」という一節がある。「誰からも自分が幸せに生きる権利を奪われてはならない。自分の翼を大きく羽ばたかせると同時に、他の友達の翼も大きく力強く、自由に羽ばたくよう祈ってあげてください。」という願いが込められたものである。

香澄さんの事例は、いじめがいじめられている人に大変な苦しみをもたらすものであり、いじめる側の心の問題であることを提起している。そして互いの違いを認め合いながら「優しい心」でつながり合っていく大切さを訴えている。さらに、母である美登里さんが講演会や著書で語る「全ての子どもたちへ、生まれてきてくれてありがとう。」という言葉とつなぐとき、いじめをしていたりいじめをしてしまいそうだったりする子どもたちに「もう一度生きなおす」（小森美登里さんの言葉より）きっかけを与えるものとする。どの取組例においても、じっくりと自分と向き合う時間を十分にとりたい。

なお、実践に当たっては、深刻な悩みを持った児童生徒が学級にいる場合には、自殺を強調しないなどの配慮をする必要がある。

#### 取組例 A 道 徳

(1) 主題名 だれに対しても（内容項目 [小学校] 4 - (2) [中学校] 4 - (3)）

(2) 資料名 「優しい心が一番大切だよ」

(3) ねらい

いじめが、被害者の心を深く傷付け、夢や希望、様々な可能性がある未来さえも奪ってしまうことについて考えることで、いじめの恐ろしさや理不尽さを理解するとともに、いじめを許さない心情を高め、誰に対しても公正公平に接しようとする態度を身に付ける。

(4) 活 動

#### 【 導 入 】

事前に行ったいじめに関するアンケートの結果を示し、ねらいとする価値への方向付けを図る。

#### 【 展開前段 】

資料②を読んで話し合う。 ※ 資料①を提示・資料②を朗読

「今日は、この女の子の話をします。名前は小森香澄さんと言います。香澄さんの気持ちを考えながら聞きましょう。」

(小学校高学年向け)

「音楽が大好きだった香澄さんは、『わたしも、あの高校に行きたい。吹奏楽部で演奏したい!』と言っているとき、どんなことを思ったでしょう。」

(中学生向け)

「高校に進学してあこがれの吹奏楽部に入部したとき、香澄さんはどんなことを思ったでしょう。」

\*香澄さんが期待に胸を膨らませ、頑張ろうとしている気持ちを捉えられるようにする。  
<予想される児童生徒の反応>

- ・頑張って練習して、上手になりたいな。
- ・仲間や先輩と楽しい部活動になるといいな。 等

『汚いから、治してから来てくれる。』と言われたり、髪型にまで文句を言われたり、無視されたり、仲間外れにされる日々が続いたとき、香澄さんはどんなことを思っていたでしょう。』

\*香澄さんの苦しみの深刻さや心の傷の深さをしっかりと考えることができるようにするために、ワークシートを作成し活用するとよい。

<予想される児童生徒の反応>

- ・どうしてこんなにいじめられるの。
- ・誰か助けて。
- ・辛いけど続けて頑張らなくちゃ。
- ・もう吹奏楽部を続けられないのかな。 等

「いじめは、香澄さんから何を奪ったと思いますか。」

<予想される児童・生徒の反応>

- ・いのち ・未来 ・夢や希望 ・幸せ ・大好きな吹奏楽 等

『優しい心が一番大切だよ』この言葉をあなたはどう思いますか。』

<予想される児童・生徒の反応>

- ・優しい心が大切、わたしも持ちたい。
- ・相手を気遣う香澄さんはすごい。 等

【 展開後段 】

自分を振り返る。

「今日の学習でどんな感想を持ちましたか。」

<予想される児童・生徒の反応>

- ・いじめは、深く心を傷付け人の未来までも奪ってしまう。絶対にしてはいけない。
- ・今まで軽い気持ちで友達に意地悪なことを言ったことがあった。でも、いじめられている人がどんなに辛いかわかった。もうしない。 等

<留意点>

ワークシートに書くなどして、いじめを一人一人の問題としてじっくりと考え、振り返る時間を十分にとりたい。

## 【 終 末 】

香澄さんの詩などを聞くことによって、いじめの理不尽さや一人一人の尊さを実感させながら、余韻を持って終わりたい。

A：香澄さんが書いた詩や、後に作られた曲を聞くことにより、香澄さんの純粋で希望に満ちた気持ちを感じ取らせ、いじめの理不尽さを際立たせたい場合。

ア) 詩の活用

「香澄さんが9歳の頃に作った詩があります。聞いてください。(資料③を朗読) 香澄さんは、夢や希望をいつも持っていました。この香澄さんの未来を奪ったのが『いじめ』です。」

イ) 曲の活用 (資料③の詩「窓の外には」を提示する。)

「香澄さんが9歳の頃に書いた詩に吹奏楽部の関係者が付け加え完成した歌があります。香澄さんは夢や希望をいつも持っていました。この香澄さんの未来を奪ったのが『いじめ』です。香澄さんの遺作とも言えるこの歌を聞きましょう(資料④参照)」

B：母親がみんなに向けて語った詩を聞かせることにより、一人一人の尊さを感じ取らせたい場合

「香澄さんのお母さんがみなさんに向けて語られた詩を聞きましょう。(資料⑤を朗読) お母さんはこんな言葉も語っています。『誰からも自分が幸せに生きる権利を奪われてはならない。自由の翼を、みんなが幸せになるために大きく大きく、自由に羽ばたかせてください。自分の翼を大きく羽ばたかせると同時に、他の友達も大きく力強く、自由に羽ばたくように祈ってあげてください。』と。」

C：それぞれの違いを認め合う大切さを伝えたい場合

例：「世界に一つだけの花」という曲の活用

「『世界に一つだけの花』という曲の詩を読みます。(朗読) 香澄さんのお母さんがこの歌に託して『一人一人、みんな違った種を持って生まれた命。咲かせる花の色も形もみんな違うはず。』と語っています。一人一人が持つ違う種をお互いに認め合えたなら、いじめは起こらないのではないのでしょうか。」

### <留意点>

授業後、死にたいという気持ちを持つ児童生徒がいないかなど、ワークシートに書かれた感想を必ず確認するなどの配慮が必要である。

## 取組例 B 学級活動

(1) ねらい

いじめについて、自分の心の中で感じたり考えたりする経験を通して、いじめを自分の問題として捉えることができるようにする。

## (2) 活 動

### 【 導 入 】

本時は、いじめについて、一人一人が「自分の心」で感じたり考えたりする活動であることを告げる。

\*導入の仕方は学年・学級の実態に応じて工夫する。例えば、4色の画用紙や太陽・雲・雨・雷のカードを示し、そのカードが人のどんな感情を表しているのかについてグループで話し合わせた後、「それらの感情を感じる場所はどこでしょう。」と聞き、少し間を置いて、「それらの感情を感じる場所が心かもしれません。」と言い、自分の心の存在を意識させる。

### 【 展 開 】

<準備物> 模造紙（グループに1枚）、付せん紙、水性マーカー

1 グループで、いじめの内容を書き出す。

「今までに見たことや聞いたことのあるいじめを一つ付せん紙に書いて、模造紙に貼りましょう。同じものや似たものがあったら近くにまとめて貼りましょう。」

<予想される児童生徒の反応>

- ・給食の時、机をわざと離しているのを見たことがある。
- ・カバンや筆箱を隠されて困ってるって聞いたことがある。 等

「それでは、二つ目を書いて貼りましょう。」

\*時間内で、この作業を何度か繰り返す。

<留意点>

「したこと」では書きにくいので、「見たこと・聞いたこと」という言葉を使う。

2 いじめを分類する。

「似ている意見を一箇所に集めて分類しましょう。そしてそのグループに名前を付けましょう。」

<予想される児童生徒の反応>

- ・これは、心へのいじめだ。こちらは体へのいじめだな。
- ・部活でのいじめかな。メールでのいじめがあるな。 等

3 グループごとに発表し、いじめには様々なものがあることと、出されたもの全てがいじめであることに気付く。

## 【 終 末 】

- 1 次の四つの質問を一つずつ児童生徒に問いかけ、それぞれが心の中で答えを探すことで、自分の心を見つめ直す。
- 「これから四つ質問をします。声に出さずに心の中で答えを探してみましょう。」
- なぜ、いじめをしてしまうのでしょうか。
  - いじめられる人にも原因はあるってよく聞くけど、みなさんはどう思いますか。
  - そこに何か理由や原因があったら、人は人を傷付けてもいいと思いますか。
  - 最初はふざけただけのつもりだった。でも友達はだんだん悲しくなって泣いてしまった。こんなふうに、もし友達を傷付けてしまったら、みんなはどうしますか。

### <留意点>

十分な時間をとって考えさせることにより、児童生徒一人一人が、いじめを自分たちの問題として捉えられるようにする。

- 2 母親の詩を読むことにより自殺した子どもとその親の思いを感じ取る。(資料①・⑤を準備)
- 「この女の子の名前は、小森香澄さん。実は、15歳の時にいじめが原因で自殺をしています。一緒に書いてある言葉『優しい心が一番大切だよ』は、自殺をする4日前にお母さんに言った言葉だそうです。優しい心でみなさんがつながることを天国から願っていることと思います。」
- 「次の詩は、香澄さんのお母さんが作られた詩です。聞きましょう。」(資料⑤)

- 3 今日の授業について感想を書く。

### <留意点>

本時は、自分の正直な心で感じたり考えたりする活動である。しかし、いじめを自分たちの問題として十分に捉えていない等、気になることがある場合は、道徳や特別活動等において、継続的に取り組むことが必要である。

※ 『いじめのない教室をつくろう』(小森美登里著)をもとに作成

## 取組例 C 学級活動

### (1) ねらい

「優しい心が一番大切だよ」という言葉をもとに、他者に対する優しさとは何かを考えることにより、相手のことを考えた、より望ましい行動がとれるようになる。

## (2) 活 動

### 【 導 入 】

「窓の外には」の歌と小森香澄さんの言葉を知る。(資料④)  
「これからかける曲を聞きましょう。・・・どんな感想を持ちましたか。」  
(資料①を提示して)「この女の子がこの曲の歌詞のもとを作った小森香澄さんです。一緒に書いてある言葉を読んでみましょう。(「優しい心が一番大切だよ」を読む)この言葉は、『窓の外には』の歌に込められた香澄さんのメッセージです。  
『優しい心』とはどんな心なのでしょう。今日は、『本当の優しさ』について考えていきましょう。」

### 【 展 開 】

<準備物> 2色の画用紙(グループに1枚)、付せん紙、水性マーカー  
1 グループで、「(相手に対して)優しい」という言葉から自由に連想するものを書き出す。  
『(相手に対して)優しい』という言葉からみなさんはどんな言葉や出来事を連想しますか。一人ずつ、思いついた言葉や出来事を一つ付せん紙に書いて、ピンク色の画用紙に貼りましょう。似たものは、その近くに貼りましょう。終わったら、二つ三つとどんどん見付けて貼りましょう。」

<予想される児童生徒の反応>

・笑顔 ・助け合い ・相手のよさや頑張りを認める。 等

2 より優しさに対する考えを深めていくために、グループで、「優しい」の反対と考える言葉や出来事を書き出す。  
『優しいの反対』は何でしょう。思い付く言葉や出来事を、一人一つずつ付せん紙に書いて、青色の画用紙に貼りましょう。(1と同様の手順で行う)」

<予想される児童生徒の反応>

・陰口 ・無関心 ・わざと嫌がることをする。 等

3 グループごとに話し合い、本当の優しさとは何かを考える。  
『本当の優しさ』とは何でしょう。『優しい』『優しいの反対』のカードを見て、気付いたり思ったりしたことをグループで話し合ってみましょう。画用紙にメモをしてもよいですよ。」

4 グループで話し合ったことを発表する。

<予想される児童・生徒の反応>

・「優しさ」は「うれしい」につながってるよ。  
・「優しい」って、相手のことを本当に大切に考えているね。

- ・相手のためにならないことは本当の優しさとは言えないと思うよ。
- ・「よくないよ」「やめようよ」って、ちゃんと言えないといけない。
- ・「優しいの反対」って、結局は、自分中心で相手を大切にしていないということだろうか。 等

<留意点>

互いの違いを認める、自分で正しく判断する、相手のことを本気で考えるといった子どもたちの意見から、「本当の優しさ」についてまとめるようにする。

【 終 末 】

もう一度、曲「窓の外には」を聞き、自分の心を見つめ直す。※資料②をもとに説明する。

「実は、香澄さんは、いじめを苦にして自ら命を絶ちました。香澄さんは『優しい心』でつながることを、心から求めていたのではないのでしょうか。最後に、もう一度『窓の外には』を聞きましょう。」

参考文献

- 『いじめのない教室をつくろう 600校の先生と23万人の子どもが教えてくれた解決策』  
小森美登里著 WAVE出版 平成25年4月
- 『新版 いじめの中で生きるあなたへ 大人から伝えたい「ごめんね」のメッセージ』  
小森美登里著 WAVE出版 平成24年6月
- 『わが子のいじめ自殺でわかった今、子どもたちと教師に起きている本当のこと』  
小森美登里著 WAVE出版 平成24年12月

参考HP

- 「NPO法人ジェントルハートプロジェクト」  
<http://npo-ghp.or.jp/>





資料②

「優しい心が 一番大切だよ」

小森香澄さんは、横浜市に住む女の子でした。香澄さんが生まれたとき、お母さんは、アルバムの一ページ目に、

「人の心の痛みのわかる、優しい女の子に育ててください。」

というメッセージを書きました。香澄さんは、両親の愛情に恵まれながらすくすくと成長し、明るく優しい子に育ちました。

「香澄のまわりには、いつも友達がたくさんいたよ。」

と友達が言うほどたくさんの友達がいて、いつも教室でみんなを笑わせるような女の子でした。

音楽好きの両親の影響でしょうか。香澄さんも音楽が大好きでした。

小学五年生のある日、ある高校の吹奏楽部が小学校に演奏に来ました。高校生の人たちの迫力のある演奏を聞いて、香澄さんは、

「わたしも、あの高校に行きたい。吹奏楽部で演奏したい！」

と、目を輝かせてお母さんに言いました。その吹奏楽部は、香澄さんのあこがれになりました。

中学生になった香澄さんは、もちろん吹奏楽部に入りました。打楽器を担当し練習に打ち込みました。そして、小学校のときからあこがれていた、吹奏楽の盛んな高校へと進学を果たしました。

高校に入学すると、担当する楽器はトロンボーンへと変わりましたが、相変わらず音楽に打ち込む日々が続きました。

高校に入学したばかりのころは、毎日の練習にも参加しとても意欲的だった香澄さんでも、そんな彼女が学校に行くのを嫌がるようになったのです。

原因は、部活動の中での「いじめ」でした。

アトピー性皮膚炎のことを指摘され、

「汚いから、治してから来てくれる。」

と言われたり、髪型にまで文句を言われたり、無視されたりと、仲間外れにされる日々が続きました。もちろん、いじめられる理由も覚えもありません。

そのことに気付いた両親は、学校に連絡をし、担任の先生に相談しました。でも、いじめはなくなりませんでした。香澄さんは、どんどん追いつめられていきました。

香澄さんが亡くなる少し前のことです。買い物に出かけたお母さんと香澄さんは、夜道を歩きながら、いじめのことをいろいろと話をしました。行くときはお母さんがたくさん話をしましたが、帰り道は香澄さんがたくさん話をしました。その話の中で、香澄さんがふつと言った言葉があります。

「お母さん、本当にかわいそうなのは香澄じゃないよ。こんなことをして、人が苦しんでいることを理解できないあの子たちの方が、よっぽどかわいそうなんだ。ねえお母さん。優しい心が一番大切だよ。」

お母さんは思わず息をのみました。自分自身がいじめられている状況でありながら、いじめている相手の悪口を言うわけでもなく、逆に、そのいじめている相手を気遣う香澄さんを見て、お母さんは暗闇に紛れて涙を流すしかありませんでした。

それから四日後。

香澄さんは、自殺を図りました。

数日間は命を取りとめたものの、結局香澄さんは帰ってきませんでした。

### 資料③

香澄さんの死後、お父さんのワープロのフロッピーの中から、一つの詩が出てきました。香澄さんが九歳のときに書いたものです。

窓の外には	
	小森香澄
窓の外には夢がある	
夢のとなりは自然がある	
自然の上には空がある	
空の上には星がある	
星の向こうに未来がある	
未来の向こうに愛がある	
愛の中には心がある	

今、香澄さんの心は、何を見つめているのでしょうか。

# Kasumi Memorial 窓の外には

～やさしい心が一番大切だよ～

作詞 Kasumi Hirashima  
作曲 T.Hirashima  
Piano Arr. N.Yamashita  
Chor. Arr. & Printed M.Sato

ほしご - そとにほめが - ある  
ほしご - こころにみらいが -

うたかたの - かなしみを  
かきとって - くれるよ

うたかたの - かなしみを  
かきとって - くれるよ

うたかたの - かなしみを  
かきとって - くれるよ

めのと - なむしげんがあるし  
らいの - ひこうにいいがある

ぜんの - えにはそらが - ある  
あいの - なかにはこころが -

らごう - えにはそらが - ある  
しいこ - こころにみらいが -

うたかたの - かなしみを  
かきとって - くれるよ

うたかたの - かなしみを  
かきとって - くれるよ

うたかたの - かなしみを  
かきとって - くれるよ



資料⑤

生まれてきてくれてありがとう

この詩を香澄へ、そしてすべての子どもたちへ贈ります

小森美登里

ありがとう 生まれてきてくれて

ありがとう 病気をしたとき いっぱいいっぱい心配させてくれて

ありがとう 多くの出会いをプレゼントしてくれて  
そして楽しい思い出いっぱいくれて

ありがとう 生きる意味を考えるチャンスを入れて  
全ての命がいとおいと感じさせてくれて

ありがとう お父さんとお母さんが出逢ったこと  
間違いないって気付かせてくれて

ありがとう こんな私に子育てをさせてくれて  
あなたをこんなに愛させてくれて

ありがとう 教室の中の子どもたちの苦しさ悲しさ  
いっぱい教えてくれて

ありがとう 「優しい心が一番大切だよ」の言葉を遺してくれて  
そして、この言葉を伝える人生を入れて

ありがとう 十五年と七カ月私と生きてくれて  
そしていつかまた逢える楽しみを入れて  
お母さんそれまで頑張つて生きるよ

ありがとう ありがとう ありがとう……………  
いい尽くせない沢山のありがとう  
でもごめんね 守りきれなくて

ありがとう ありがとう ありがとう……………  
すべての子どもたちへ 生まれてきてくれてありがとう！

「いじめのない教室をつくろう」小森美登里 著 より